

指定管理者事業報告書（令和 6 年度末報告）

令和 7 年 4 月 30 日 提出

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

施設名	三原市武道館		連絡先	0848-64-7555
指定管理者団体	団体名	株式会社サービスセンター		
	代表者名	代表取締役 伊達 護		
	所在地	三原市宮沖 5－8－2 4		

1 職員体制（人数欄のうち（ ）内は非常勤職員の内数）

職名	人数	常駐 職員数	職名	人数	常駐 職員数
管理職員	2人（1人）	1 人	清掃員	12人（1人）	11 人
受付事務員	3人（0人）	3 人	事務補助員	5人（5人）	0 人
設備管理員	4人（0人）	4 人			
常勤職員（合計）	19 人		非常勤職員（合計）	7 人	

2 開館日・開館時間・利用状況等

	実施計画【年間ベース】 α	実績【年間実績】 β	達成率 $\beta \div \alpha$	自己 評価	市担当課評価	
					評価	評価の内容
開館日	令和6年4月1日～12月28日	令和6年4月1日～12月28日	100.0	A	A	条例に従って実施されている。
	令和7年1月4日～3月31日	令和7年1月4日～3月31日				
開館日数(X)	359	359	100.0	A	A	条例に従って実施されている。
開館時間	9:00～21:00	9:00～21:00	100.0	A	A	条例に従って実施されている。
延べ利用者数 (Y=a+b)	25,130	31,621	125.8	A	A	良好である。
うち通常業務 (a)	25,000	31,538	126.2	A	A	良好である。
うち自主事業 (b)	130	83	63.85	A	B	計画人数に達していない。
延べ利用日数(Z)	359	359	100.0	A	A	良好である。
稼働率(②)	29.7%	52.0%	175.0	A	A	良好である。

※1 稼働率の計算式(単位:%)

① 利用者数で稼働率を算定する場合の計算式 $\text{利用者数 (Y)} \div \text{開館日数 (X)} \div \text{利用定員 (1日あたり \underline{\hspace{1cm}} \text{人})} \times 100$

② 施設の区分ごとの利用日数で稼働率を算定する場合の計算式 $\text{利用日数 (Z)} \div \text{開館日数 (X)} \times 100$

※2 稼働率欄の()内には、使用した計算式に応じ、①又は②と記入すること。

※3 施設の区分ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表1に記入すること。

※4 曜日ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表2に記入すること。

別表 1 施設の区分ごとの利用件数・利用者数・稼働率

	実施計画【年間ベース】			実績【年間実績】		
	件数	人数	稼働率（％）	件数	人数	稼働率（％）
板面	400	20,000	37.1%	739	23,173	68.6%
畳面	200	4,000	18.6%	283	3,842	26.3%
全面	20	1,000	1.9%	49	4,523	4.5%
合計	620	25,000	29.7%	1,071	31,538	52.0%

別表 2 曜日ごとの利用者数・稼働率

	平日（243 日）			土日祝日（116 日）			通年（359 日）		
	件数	人数	稼働率（％）	件数	人数	稼働率（％）	件数	人数	稼働率（％）
板面	540	17,211	74.1%	199	5,962	57.2%	739	23,173	68.6%
畳面	209	3,252	28.7%	74	590	21.3%	283	3,842	26.3%
全面	5	176	0.7%	44	4,347	12.6%	49	4,523	4.5%
合計	754	20,639	52.1%	317	10,899	51.9%	1,071	31,538	52.0%

3 事業評価

項目	事業計画書の概要	自己評価		市担当課評価	
		評価	B 以下の場合、改善・課題の具体的内容	評価	評価の内容
1 施設管理体制	職員配置	A	事業計画に沿った適正な人員配置を行っています。	A	適切に実施されている。
	職員研修	A	年間計画に沿った職員研修を実施しています。近年多発する災害等にも対応できるようレベルアップを図ります。	A	適切に実施されている。
	利用促進業務	A	HP、FMみはら、イベントカレンダー、広報みはらを通じて利用促進を行っています。	A	適切に実施されている。
	設備・備品管理	A	三原市備品、自社備品を明確にすべくシール添付にて対応しています。	A	適切に実施されている。
	現金管理	A	利用申請書等と現金を確認し適切な管理を行っています。	A	適切に実施されている。
	安全体制管理	A	緊急連絡先、緊急対応マニュアルを用意し、適切な安全管理体制を構築しています。	A	適切に実施されている。
	緊急時の対応	A	本社は1 Km以内にあり、責任者も500m以内に居住しており、有事の際は即時対応を可能としています。	A	適切に実施されている。
2 利用者に関する業務	利用状況	A	利用率、利用人数ともに目標を超えています。	A	良好である。
	利用料金の設定	A	条例に基づいた利用料金体制を確立しています。	A	適切に実施されている。
	接客対応	A	利用される方の視点に立った接客対応を心掛けています。	A	適切に実施されている。
	個人情報保護	A	終業時は施錠できる書類保管庫に個人情報書類を収納しています。	A	適切に実施されている。
3 施設維持管理状況	保守点検業務	A	年間業務計画に基づいた業務履行を実施しています。	A	適切に実施されている。
	清掃等維持管理業務	A	同上	A	適切に実施されている。

4 実施事業	企画運営事業	—		—		
	自主事業	A	施設機能を活かした自主事業展開を模索してまいります。	B	計画を上回るように実施していただきたい。	
	自主事業の内容	個人教室開講支援	A	開催希望される時間と調整が可能な場合、引き続き支援します。	B	実際の開講に繋がるように、支援していただきたい。
		新体操無料体験	A	計画通りに実施しています。	A	良好である。
		ピラティス・アロマ マッサージ体験会	A	計画通りに実施しています。	A	良好である。
		サーキット運動	A	計画通りに実施しています。	A	良好である。

4 事業収支

		実施計画	決算	備考	市担当課評価
【収入合計】		3,520,000	3,869,490		<p>【収入】 利用料金収入が計画を下回っている。利用者数増を収入増につなげるよう努力していただきたい。</p> <p>【支出】 光熱費や人件費など物価高騰の影響がある中、光熱費を計画より抑えた点は評価できる。</p> <p>【収支】 定期利用団体が多く、利用料金は安定しているが、光熱費や人件費などの物価高騰の影響により、令和6年度は赤字となった。新たな利用者の獲得により、施設の効用を更に発揮する取り組みを行ってほしい。</p>
	利用料金	2,400,000	2,381,080		
	自主事業収入	120,000	16,500		
	指定管理料	1,000,000	1,471,232	うち指定管理者支援事業471,232円	
	その他	0	678	銀行利息	
【支出合計】		4,184,000	3,894,990		
	人件費	600,000	900,000		
	常勤	600,000	900,000		
	非常勤	0	0		
	事務費	0	0		
	消耗品費	0	0		
	備品購入費	0	0		
	事業費	982,800	991,972		
	通常業務	958,800	949,972		
	自主事業	24,000	42,000		
	施設維持管理費	2,541,200	1,995,621		
	設備管理費	123,200	123,204		
	保安警備費	198,000	198,000	機械警備	
	光熱水費	1,920,000	1,308,437	電気（水道含む）、ガス	
	修繕費	300,000	365,980		
	その他	60,000	7,397		
	保険料	0	0		
	税金等	60,000	7,397		
	その他	0	0		
【収 支】		▲ 664,000	▲ 25,500		
支出のうち委託費		198,000	198,000		

5 利用者等からのクレーム対応等（具体的事例を簡潔に）

主な内容	回 答	対応措置	対応に対する反応	検証
空調を期間でなく、室温で入れてほしい。	現在は条例で定められている期間で運営しています。三原市と協議、改善提案等行っていきたいと思います。と返答しています。	意見対応の貼り出しを行っています。	特になし。	適切に対応している。
9時開館であれば、9時前に開けてほしい。	開館は9時と定められており、必要であれば8時開館対応は行っているの、所定の手続きを行って下さい。と返答しています。	意見対応の貼り出しを行っています。	特になし。	適切に対応している。

※ 検証欄は、担当課が検証・分析を行い、記入すること。

6 運営上の課題、市への要望等（ご自由にお書きください。）

内 容	担当課回答
土日、夜間の予約は埋まっており、今以上に利用団体が増えると利用できなくなる団体が発生します。三原市内に同様の施設を新築・改築するなどの検討もお願いします。	現状通りとしたい。

7 市担当課総合評価

1 利用者数は31,621人（前年度実績32,180人）となっており、計画を上回るとともに、ほぼ前年並みとなっている。引き続き、利用者数増に努めてほしい。 2 自主事業については、参加者数が計画を上回るよう積極的な周知をお願いしたい。 3 施設の管理運営については、概ね適切に管理されている。 4 収支については、赤字が発生している。人件費や物価の高騰などやむを得ない部分もあるが、引き続き支出全般を見直すとともに、利用者増加による利用料金収入の増加に努めていただきたい。
